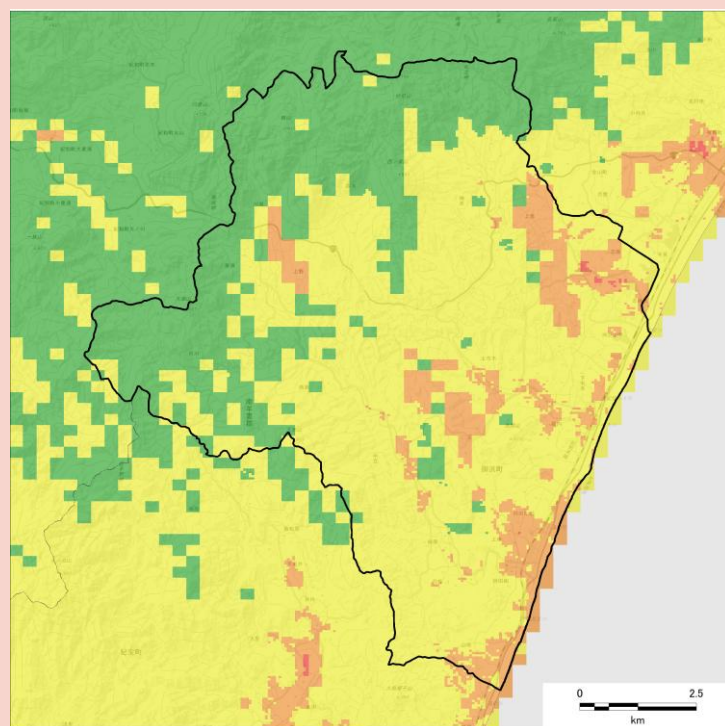
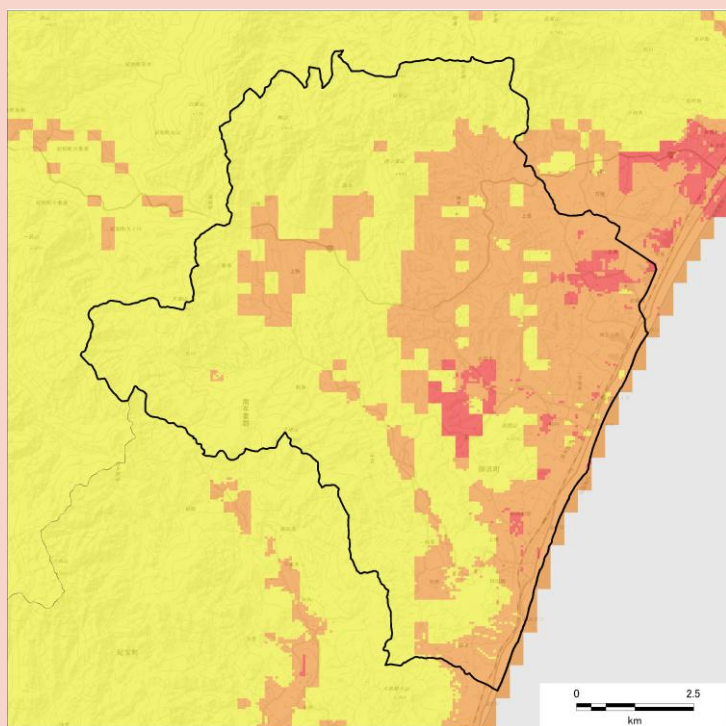


1. ハザード評価

(1) 地震動

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



震度階級

- 震度7
- 震度6強
- 震度6弱
- 震度5強
- 震度5弱
- 震度4
- 震度3以下

< 震度別面積割合 >

(参考) 総面積 = 88.1km²

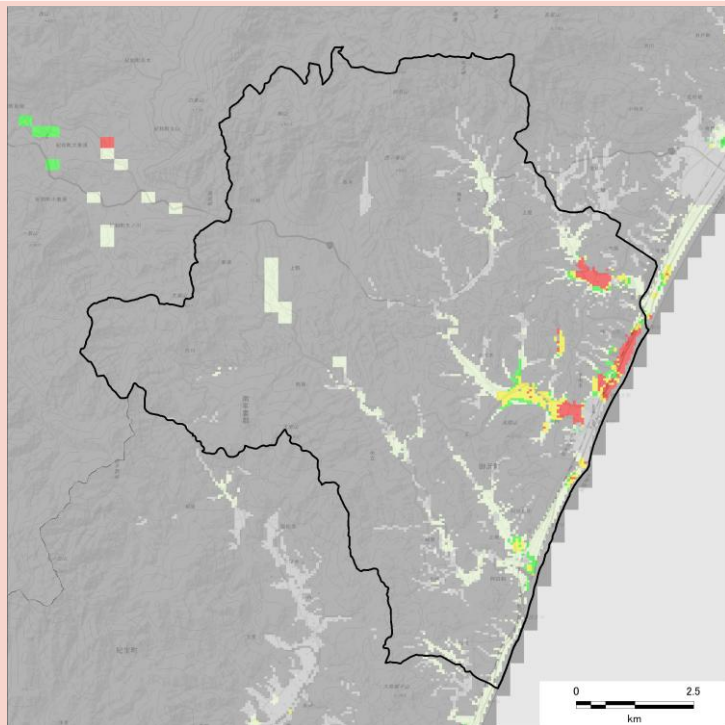
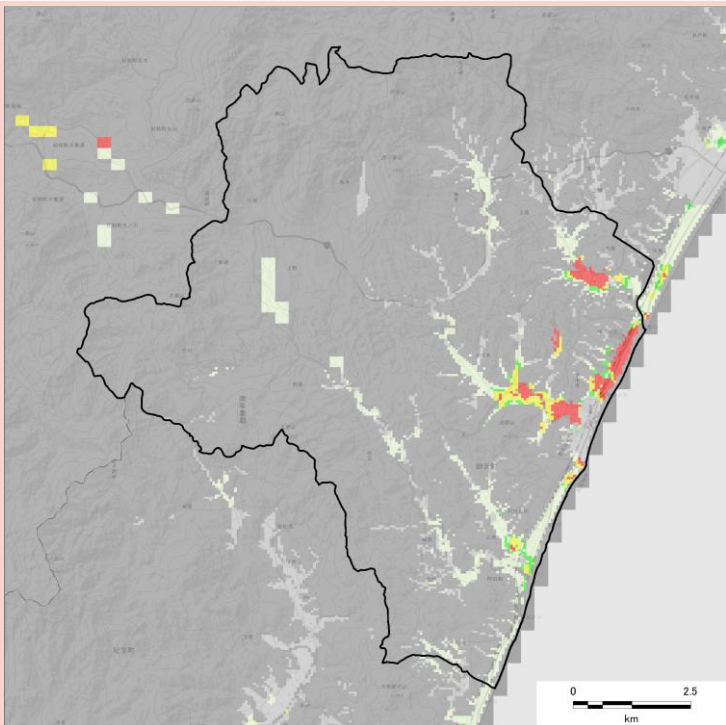
震度階級	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km ²)	割合	面積 (km ²)	割合
7	2.7	3%	0.1	1%未満
6強	33.2	38%	10.0	11%
6弱	52.2	59%	51.7	59%
5強	0.0	0%	26.4	30%
5弱	0.0	0%	0.0	0%

※震度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

(2) 液状化

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



液状化危険度

- 極めて高い
- 高い
- 低い
- 極めて低い
- 計算対象層なし
- 計算対象外

< 液状化危険度別面積割合 >

(参考) 総面積 = 88.1km²

液状化危険度	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km ²)	割合	面積 (km ²)	割合
極めて高い	1.0	1%	0.8	1%未満
高い	0.7	1%未満	0.8	1%未満
低い	0.3	1%未満	0.4	1%未満
極めて低い	4.3	5%	4.4	5%
計算対象層なし 計算対象外	81.8	93%	81.8	93%

※液状化危険度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

1. ハザード評価

(3) 沿岸最大津波高

L2	L1
16m	10m

(4) 沿岸津波到達時間

L2	L1
6分	5分

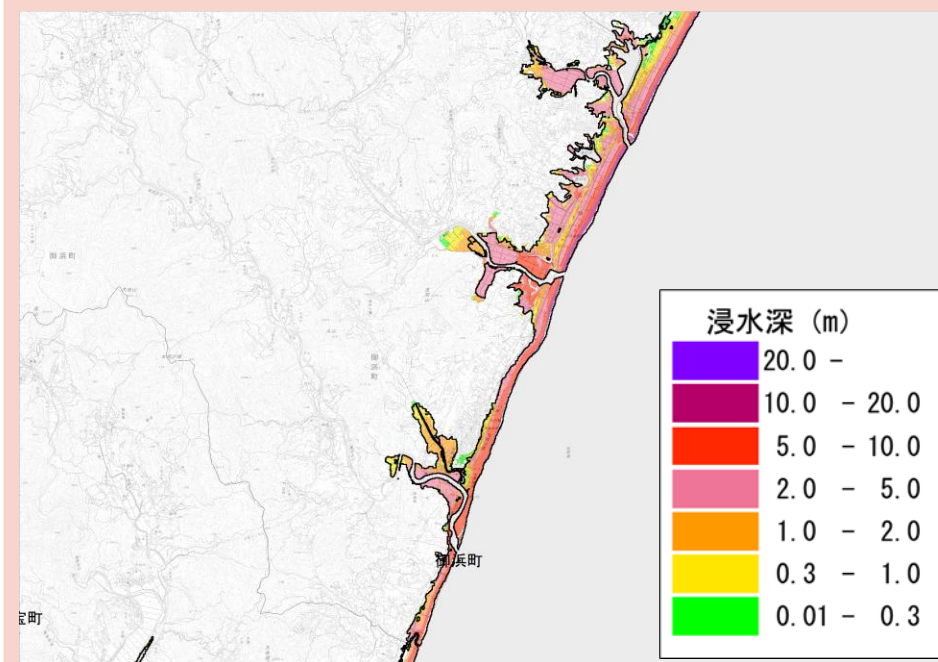
※沿岸で1mの水位変動が発生するまでの最短の時間

(5) 津波浸水面積

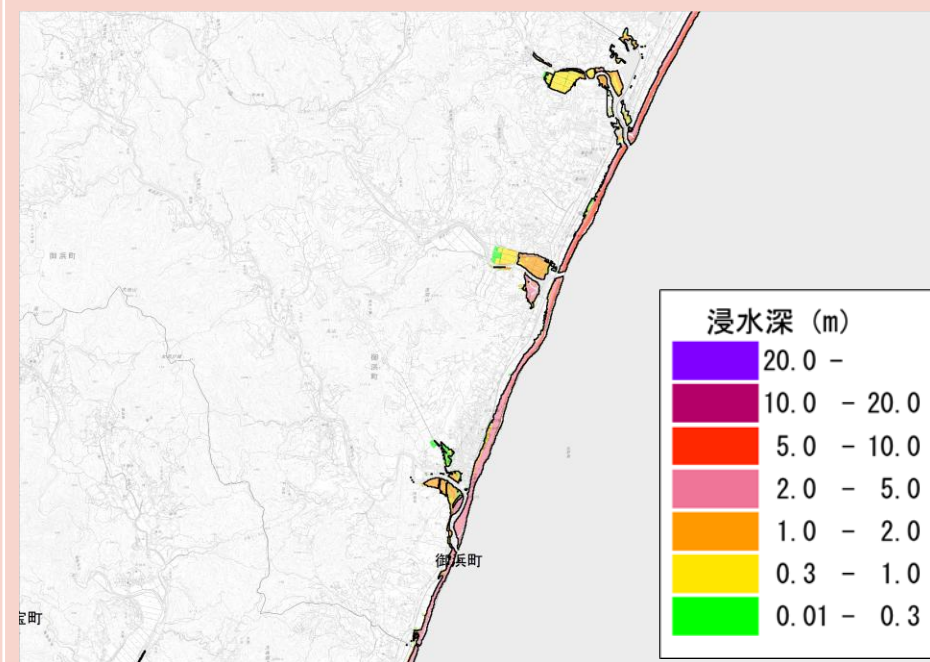
L2	L1
404ha	150ha

(6) 津波浸水深

【L2】理論上最大クラス

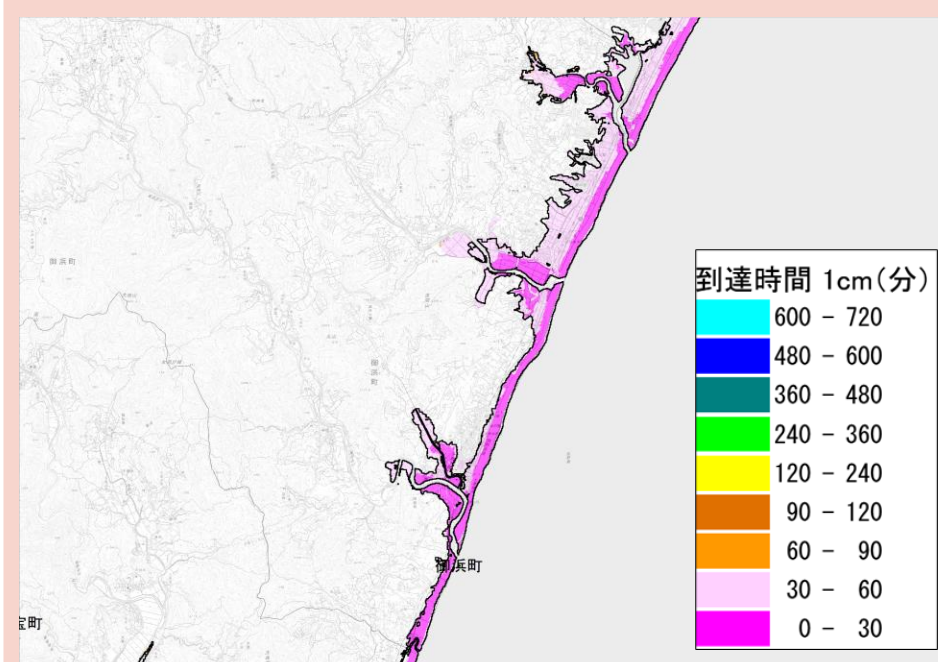


【L1】過去最大クラス

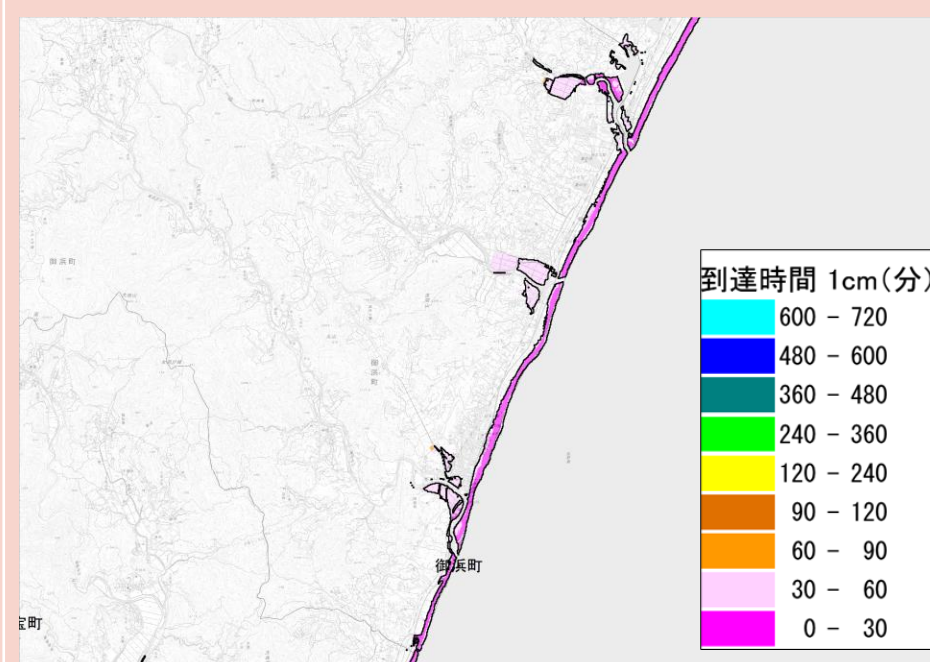


(7) 津波浸水深到達時間 ※陸上で1cmの浸水が発生するまでの時間

【L2】理論上最大クラス



【L1】過去最大クラス



2. リスク評価

(1) 人的被害

※L2の死者数は津波ケース⑥の推計結果

※季節・時間帯：冬・深夜

※津波からの早期避難者比率が低い場合

定量評価項目	L2	L1
死者数（人）	約500	約50
うち建物倒壊等	約100	約30
うち津波	約400	約20
うち急傾斜地崩壊等	-	-
うち火災	-	-
うちブロック塀 ・自動販売機転倒 および屋外落下物	-	-
重傷者数（人）	約200	約50
軽傷者数（人）	約400	約300
建物倒壊等による 自力脱出困難者数（人）	約200	約60
津波被害による 要救助者数（人）	約10	-
津波被害による 要捜索者数（人）	約400	約20

(2) 建物被害

※L2の全壊・焼失棟数は津波ケース⑥の推計結果

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
全壊・焼失棟数（棟）	約2,100	約500
うち揺れ	約1,600	約500
うち液状化	-	-
うち津波	約300	約10
うち急傾斜地	約10	約10
うち火災	約100	-
半壊棟数（棟）	約1,800	約1,400
うち揺れ	約1,700	約1,400
うち液状化	約10	約10
うち津波	約90	約20
うち急傾斜地	約20	約20
ブロック塀等の 転倒数（件）	約200	約100
自動販売機の 転倒数（件）	-	-
屋外落下物の 発生数（件）	約300	約40

(3) 火災被害

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
炎上出火件数（件）	-	-
残火災件数（件）	-	-
津波火災発生件数（件）	-	-

概観（理論上最大クラス）

【ハザード評価】

全域で震度6弱以上となります。また、地震発生から6分程度で高い津波が沿岸に到達し、30分以内に浸水が生じる地域があります。

【リスク評価】

死者の約8割が津波で亡くなり、また揺れによって町全体の約2割の建物が全壊することで建物倒壊等による死者や自力脱出困難者が発生します。津波による全壊や火災による焼失も発生します。

※「-」：わずか（5未満）

※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。